

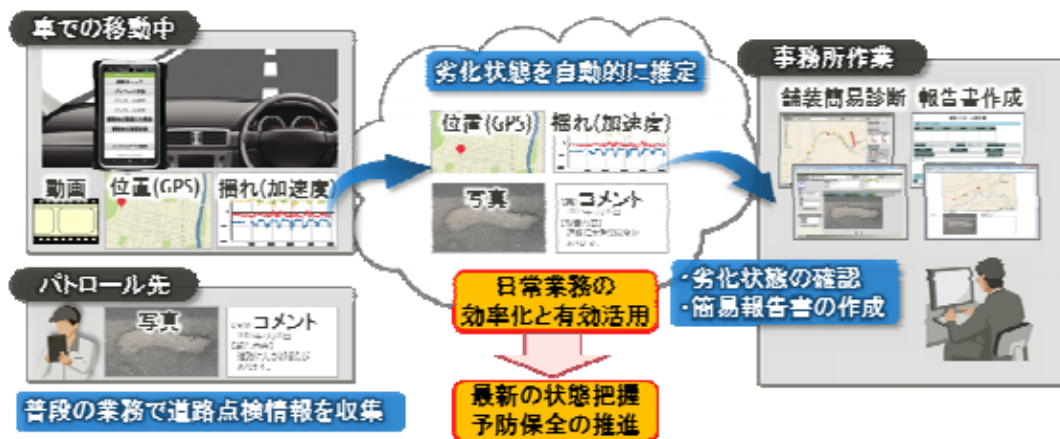
岡山国道の維持工事調査にスマートフォンを試用 道路維持管理業務に期待されるICTの利活用

当社では今年度、担当している国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所岡山維持出張所管内の維持工事において、同出張所、株式会社富士通交通・道路データサービスと共同で道路点検調査にスマートフォンを活用した「道路パトロール支援サービス」を試用導入しました。

同サービスは点検業務で利用する車両にスマートフォンを搭載することで、走行時に収集する振動情報から路面の状況を的確にとらえる事が可能となり、主に補修工事を必要とする地点や区間のセンシングに活用し、収集した情報は発注者の岡山国道事務所岡山維持出張所と共有し、業務の効率化を目指しております。今後、社会インフラの長寿命化対策にICT技術を効果的に活用し、安全で安心な道路維持管理に取り組んでまいります。

【本サービスの導入背景】

当社の維持担当工区は延長約30キロメートル。限られた費用と期間で担当区間の路面状態を把握する必要があり、効率的で効果的に、かつ低コスト、簡単操作で工事の必要な区間を絞り込むツールとして同サービスを試用導入いたしました。これにより発注者である岡山維持出張所と迅速な、情報の共有が可能となり、さらに路面の最新状態を常に把握できる点で、利便性の向上だけでなく相互の意思疎通にも効果を発揮。公共工事の透明性と業務効率の向上により適切な社会基盤の維持管理を目指してまいります。



本サービスの概要

【 活用概要 】

1. 工事記録の作成

同サービスの導入により、スマートフォンで記録した現場の写真が工事記録に自動入力。作業地点を表示した地図およびスマートフォンで撮影した地点の写真も自動的に挿入されるため、工事記録の作成時間が短縮。また、現場で緊急性の高い事象が発見された場合には、スマートフォンで現場の様子を撮影し送信するだけで、地図上の対象地点と現場の状況（写真）を事務所側で迅速に把握できるようになったことにより、現場と事務所間の作業効率が向上いたしました。



工事現場での運用イメージ

(図中の地図は株式会社ゼンリンの著作物。Copyright 2015 ZENRIN CO., LTD. (許諾番号：Z13LD第749号))

2. 舗装診断

車両にスマートフォンを搭載して走行時の振動データを収集することで、担当工区の最新路面状態の把握が可能となりました。

本サービスを活用で、蓄積されたスマートフォンのデータを用いて舗装補修箇所の選定や優先度付けが可能となり、発注者への修繕計画の立案・策定に役立つものと考えております。

【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【 関連サイト 】

・ 株式会社富士通交通・道路データサービス

<http://www.fujitsu.com/jp/ftrd/>

・ 道路パトロール支援サービス商品情報ページ

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ftrd/services/road/patrol/>